

# 山下雄平新聞

<発行元>  
山下雄平後援会  
〒840-0801  
佐賀県佐賀市駅前中央  
三丁目6-11  
TEL0952-37-8290  
FAX0952-37-8291

## 223,810票を獲得 重みを胸に国会へ

### 郷土に誓う、未来への責任

昨年七月二十一日に行われた第二十三回参議院議員通常選挙において、山下雄平は多くの皆様から支持を頂いて初当選しました。  
「佐賀の目となり耳となり、足となります」と熱い決意を語ります。

平成二十四年一月、三十二歳だった山下雄平は、

日本経済新聞政治部記者の職を辞して故郷佐賀に帰って参りました。新聞記者として約九年。総理官邸や自由民主党本部で政治の中枢を取材する中であって、故郷への思いは益々募り、いつしか政治の道を志すようになり



安倍総理と街頭演説＝武雄市

ました。当時、まだ民主

党政権下でしたが、日々の取材活動において、政権担当能力の限界をひしひしと感じていたこともありました。

無職となって故郷に戻り、一軒一軒を回り、自分を知ってもらう努力を続けました。手探りの中で、多くの先輩、同志に恵まれ、自民党の公認を得、参議院選挙に挑むことになりました。  
夏の暑い選挙戦。県議

より、各地区の自民党支部、青年部、女性部の熱



烈な活動が山下雄平を支え、その熱い訴えが二三三、八一〇票の支持を得る結果となりました。  
当選が決まった時の深い感謝と、改めて感じた責任の重さは、一生忘れることはありません。

県内経済の活性化、中小企業対策、農林水産業振興、経済成長に向けた戦略、国土強靱化のためのインフラ整備、医療・介護・福祉・子育てにおける安心安全の確立など課題は山積しており、国

政には一刻の猶予もありません。  
自分の未熟さを自覚しつつ、選挙戦で訴えた政策や、その後県内各地で伺った各分野の課題を国政の場に反映できるように精進を重ねる覚悟です。

## 参議院予算委員、法務委員に

参議院選挙後の八月、山下雄平は上京して参議院に初登院しました。

自民党の初当選議員三十四名の中で最年少の三十三歳（当時）。政治の安定と発展に向けて全国で自民党に再度期待がかかる中、未来を見据えた若さを存分に発揮して、

決まりました。  
予算委員会は国家予算をはじめとして国政のあらゆる事項を扱う国会の花形委員会です。テレビ中継もあり、臨時国会が始まってすぐに委員会室に座っている模様を多くの方に見て頂けたことは有難いことでした。あちこちで「テレビで見たよ」とお声を掛けて頂きました。総理をはじめ閣僚に対する予算委員会での質疑の様子をお見せ出来るよう努力せねばと思っています。



十月十五日、いよいよ臨時国会が開会。本格的に永田町での議員活動が始まりました。  
参議院での所属委員会、憲法審査会、政治倫理の確立および選挙制度に関する特別委員会に

十一月五日、一般質疑で諫早湾干拓事業の開門調査について、福岡高裁の確定判決を政府が履行出来ていない現状を質しました。その後、長崎地裁において別の仮処分が出て、事態は一層複雑化しています。林芳正農林

十一月十九日には、自動車運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律案、十二月五日には民法改正案について、谷垣禎一法務大臣に質疑を行いました。



民法改正案は、最高裁判決に基づき相続において嫡出子と非嫡出子の区別をなくすというもので、自民党内でも家族の在り方について議論が分かれたところでもあり、賛否両方の懸念を丁寧に質問することに努めました。